

画像処理による粒子画像の解析

- 顕微鏡で撮影した粒子画像をコンピュータに取り込み，粒子の数や形状を自動的かつ精密に計測するデータ処理についての実習を行います．
- このような処理は「画像処理」と呼ばれ，ロボットによるセンシングや工業製品の自動欠陥検査など生産現場で幅広く用いられています．



→
画像処理による
自動計数

粒子個数 = 363個

画像処理による粒子画像の解析

- 担当教員名と連絡先
 - 山下 淳(東京大学工学部精密工学科)
 - E-mail: yamashita@robot.t.u-tokyo.ac.jp
 - Tel: 03-5841-6457
- 実習場所
 - 本郷キャンパス 工学部14号館 8階827室に集合
- その他
 - ノートPC (OS: Windows 2000/XP/Vista/7 日本語版) を持参すると, 自分自身のPCで実習が可能です.
 - 自分自身のPCがない場合, 当方でPCを準備します.